

演習 II

科目ナンバリング SEM-302
必修 2単位

山中 左衛子

1. 授業の概要(ねらい)

新型コロナウイルスの流行は、人々の行動様式に変化をもたらしました。対面接客を中心とする業種では、労働力不足の状況から一転、新型コロナが対面接客の常識を変え、AIの導入を加速させるなど、非接触化と省力化が同時進行しています。さらにホスピタリティ産業全体が、SDGs、特に地球温暖化に対する危機感の高まりとともに、改革を迫られています。

後期は、ホスピタリティ産業と観光地を対象に「ホスピタリティマネジメント」という経営の視点(組織文化、マーケティング、組織マネジメント)で、チームごとに決定したテーマに基づいて調査研究を進め、グループで批評し合い、協働して問題解決型の論文を書き上げます。

全員の見終目標は2つあります。年末に最終プレゼンテーションを行い、来年の初めまでに論文を書き上げることで、さらに選抜チーム2組は、経済学部ゼミ発表会への登壇を目指します。

また就活にも役立つ「考えて伝える力」を磨く時間を設けます。後期は就活を意識したトピックを選び、考えを話すことを繰り返して「思考を言葉にする」力の向上を目指します。なお、産業界からゲストスピーカーを招くことがあります。

2. 授業の到達目標

- (1) 自らの興味に応じ研究テーマを設定、計画を立て、自発的に情報を取りに行くようになります。
- (2) 問題がどこにあるのか見つけ、原因を捜し問題解決への一歩を踏み出せるようになります。
- (3) レポート作成の過程をとおして、企業人として必須のチームにおける役割分担力、プレゼンテーション力、文書作成能力等が身につきます。

3. 成績評価の方法および基準

発表内容(評価割合40%)、グループ活動への積極的参加(評価割合20%)、個別レポート(評価割合20%)、意見表明とリアクションペーパー(評価割合20%)により評価されます。ただし無断欠席、やむを得ない理由以外の発表準備・発表当日の欠席は、減点します。

4. 教科書・参考文献

教科書

適宜資料を配付します。

参考文献

デービッド・アトキンソン 『新・観光立国論』 東洋経済新報社

戸田山 和久 『新版 論文の教室 レポートから卒論まで』 NHKブックス

5. 準備学修の内容

必要に応じて、事前に資料を配付しますので、次回までに準備して参加しましょう。

上記資料・参考書のうち興味のあるものについて、内容を把握しておくことを勧めます。

6. その他履修上の注意事項

後期は、授業の時間外の活動が、必須です。授業中に資料を探しに行くのではなく、事前に入手すること。

第2回の論文の書き方をLMSによるオンデマンド授業とする予定です。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション
前期振り返り、夏休み中の研究テーマのチームごとの進捗確認
- 【第2回】 研究・討議①
- 【第3回】 MELICセミナー(予定)
- 【第4回】 研究・討議②
- 【第5回】 研究・討議③
- 【第6回】 研究・討議④ 発表構成決定
- 【第7回】 発表準備
- 【第8回】 中間発表 他チームからのフィードバック
論文の構成
- 【第9回】 論文の書き方II (LMS)
- 【第10回】 論文作成・討議①
- 【第11回】 論文作成②
- 【第12回】 論文作成③
- 【第13回】 発表準備(パワーポイント)
- 【第14回】 最終発表(パワーポイント)
- 【第15回】 論文の仕上げ